

## 地域とのつながりを大切に

座間市

介護付有料老人ホーム SOMPO ケア ラヴィーレ座間

管理者 姫野 翔太

1. はじめに
2. 座間市にある地域資源(ボランティア、NPO 法人、ご家族様やご入居者様、近隣施設)を活かし、運営面のサポート、レクリエーションの充実へと有効活用したい。ホーム運営上人手と時間がとられてしまいがちな受診の送迎や付き添い、レクリエーションの実施等の非介助業務を中心に外部資源を有効活用し、日々の運営に役立てたいと考えました。
3. 事例や取り組みの紹介

### ① ホーム内資源

ご入居者様やご家族様の協力を中心。利用者の方はサービス提供を受ける側からの一側面だけでなく、自身もサービス提供者の中に入るイメージ。具体的にはご入居者様の趣味や特技を活かしたサークル活動を用意。どのサークルも 2~6 名前後で重複参加されている方もいる。要支援 1~要介護 3 程度の方が参加。基本的にスタッフはサポート役として運営の準備や必要物品の注文をおこない、進行はご入居者様へお任せ。高齢者の方であるため、安全面での配慮としてスタッフは目の届く場所で見守り、行っていただく役割を開始時に割り振りをおこなっている。

謡いの会の講師になっていただく、農園サークルで草木やガーデニングの手入れを主体的におこなっていただく。囲碁のサークルとしてご入居者様同士でお約束をされ、対局を楽しまれる。また、ホームの清掃やタオルたたみを毎日の日課としてお手伝いいただくこともサークル活動として位置付けて用意している。

またご家族様にも協力を依頼し、アロママッサージの講座をおこなっていただいたり、ご入居者様が運営されるサークルに生徒として参加いただいたりしている。

近隣には鈴鹿明神社や鈴鹿の泉等、散策に適した場所に位置している。ご家族様へ散歩マップを配布し、来訪時に外出支援のサポートを積極的にお願いしています。

### ② ホーム外資源

NPO 法人たすけっこの付き添い移送サービスを受診や外出時の移動手段として積極導入。病院内付き添いや遠出外出等、サービスに長時間かかってしまいがちな部分へ外部資源をあてている。

レクリエーションに座間市社協の方を通じてボランティアを積極導入。編み物、傾聴、ハーモニカ、合唱、付き添い支援、書道教室等、毎月定期的に来訪頂いている。

近隣には鈴鹿明神社、座間小学校、座間公民館と公的施設にも恵まれている。鈴鹿明神社の夏祭り、節分祭…、座間小学校のゆうゆうクラブへの参加や材料の事前お手伝い…、座間公民館の文化祭やサークル、図書館利用…等ホームのイベントとして予定に組み込

んでいる。

また、他社 GH ともイベントの往来や道具の貸し借り等会社の垣根を越えて交流しています。

#### 4. 考察

- ① 施設職員がおこなうレクリエーションにも散歩や百人一首、カラオケ等予定されているが、個別性に対応出来ておらず、マンネリ化していることが実情である。また個別性に対応を求めすぎると、業務負荷がかかり、その他サービスに支障が出てしまうため、施設職員のみでおこなうことには限界があると思われる。
- ② ①同様、外出や病院付き添い等、利用可能な有料サービスとして用意はしているものの、長時間業務として拘束されてしまうため、同理由にて外部サービスを有効活用することで通常サービスでの満足度を下げずに対応できると考える。

#### 5. おわりに

- ① 現在、ホームで行われているレクリエーション全体の4~5割近くが内部資源、または外部資源の協力を得て行われている。スタッフの負担はもとより、個別性の高いレクリエーションがおこなわれている。反面、自立度の高いご入居者様が対象となっているため、介護度が今の参加者の介護度があがった際に、運営方法を見直さなければならない。また、個人とホームでつながっている方もおり、その方との関係が切れてしまった時に代替開催は出来ないというデメリットはある。
- ② 公的な施設、団体と関わりを持たせて頂いているため、信頼度が高く、安心して来ていただけている。ご入居者様も外部交流することで意欲が増し、両者間で個人交流へと発展される方もいた。

当施設に家族を入居された方で座間市にお住まいだったご家族様も、鈴鹿明神社や近隣のひまわり畑、社協の存在を知ることが出来たので、座間市の魅力を再発見することが出来たとお話し頂きました。

私たちはあくまでも法人が運営している介護付き有料老人ホームですが、地域とともに活動する。座間市、周辺環境とのつながりを活動を通して再度重要性を認識させて頂きました。

介護や福祉というとまだまだ敷居が高いと思われているかもしれません。

私たちも座間市の地域資源として地域とともに活動をしていけたらと思います。